



電子カルテ導入について

院長 高崎 健



この度本院でも電子カルテシステムの導入を予定し、一年以上前から職員一同が係つてシステム作りを進めて参りました。

ここで簡単に電子カルテシステムについてご紹介いたします。このシステムは診察の時に使われているカルテ（診療記録）ばかりではなく、病院で行われている業務の全ての記録、伝票などをコンピュータの中で整理し、良質の医療が安全確実にしかも円滑に行われるよう運用調整することを目的としています。

現在診療記録は国の指示により「1患者1カルテ」とすることが決められています。これがつて多くの診療科を受診されている方では複数科のカルテを束ねて一冊にして管理しなくてはならず、必然的に時間も短縮されます。診察

に分厚いカルテとなってしまい、カルテの運搬には労力の時間を要しています。また他の診療科で行われている診療内容などを確かめるのは大変に煩雑で時間を要する作業となっています。これらはシステム導入により簡略化され、検査や処方の重複も避けられるようになります。院内全ての部署で正しい情報が共有され全ての業務にチェック機構が働くので医療事故の防止にもつながります。

システムの稼働により効率的で時間の無駄のない診療運営管理が可能になります。たとえば外来診療では、来院後自動受付をされると来院情報は直ぐにブロック受付、診察室に伝わり、診察室への誘導が円滑になります。さらに診察から検査、処置、などの依頼伝票は無くなり、瞬時に目標部署へ情報が送られるため人が伝票を運ぶ必要も無くなり時間も短縮されます。診察の時に 입력された薬の処方は

薬局に伝わり、直ぐに調剤が始めますので診察を終え調剤窓口に到着の頃には薬が出来るようになります。

このように沢山の利点がありますが、欠点もあります。最も問題になるのはこのシステムを良好に稼働するために医師への負担が多くなると云う点です。診察の時に医師がコンピュータばかりを見ていて患者の顔を見ないと云つたお叱りが多いと聞きます。どうしても診察時間内の何割かがコンピュータ操作の時間となってしまうことが避けられません。医師ばかりではなく全ての職員がこのシステムを全員がこのシステムに沿つた病院運営に慣れる間は患者さんに不便をお掛けすればなればなりません。また

ことも予想されますがしばらくのご容赦をお願い申し上げなければなりません。また効率的な運用のために業務運用の仕組みの変更も必要になりますので、重ねてご協力を

はじめて
はじめて



5/7付入職
スポーツリラックス
塚原名津美



5/7付入職
スポーツリラックス
松田愛美



5/7付入職
スポーツリラックス
前川聰美



飲食店のバイトで学んだスマイル精神と、某宅配業者の荷物仕分けで培った根性。無敵です。

血液型：A型

星座：牡牛座

5/16付入職
春秋園
前川聰美



责任感、リーダーシップを持つ様々な方々とコミュニケーションを取っていきます。

(形成外科部長 高橋 元)

血液型：O型 星座：乙女座

ができるため、その目的は細胞の中の遺伝子DNAを紫外線から守るため。電子顕微鏡で見ると細胞の中の上の方に帽子のように黒いメラニンが集まっています。これ、面白い程ホントの話！メラニンができすぎ、表皮の下の真皮にたまつて

次に女性の両頬部に対照的にできる「肝斑」。ホルモンが影響するといわれ、現在では大きな意味での抗炎症剤の服用で薄くなります。その他の原因は？といふと、でき方の異なる「雀卵斑（そばかす）」、「後天性真皮メラノーシス」、「脂漏性角化症」、「日光角化症」、「基底細胞癌」等があり、薄くする方法もそれぞれ異なるので、自分の「しみ」がどれなのかを知ることが大切。詳しく述べます。

診断は溢流性尿失禁と同様、排尿後に膀胱内に残る尿量をみる残尿測定・腹部超音波検査や膀胱機能を診る膀胱内圧測定などがあります。



（おわり）

Q & Aコーナー

ここが知りたい！素朴な疑問に
わかりやすくお答えします。

尿失禁

泌尿器科部長 松木 克之

Q 最近、しみが目立つようになりました。しみはどうしてできるのですか？薄くする

A 実はできる原因がいろいろです。最も分かり易いのは日焼けの後にできるしみで「老人性色素斑」という名前です！そもそも日焼け後の色黒はメラニンという色素

ができるため、その目的は細胞の中の遺伝子DNAを紫外線から守るため。電子顕微鏡で見ると細胞の中の上の方に帽子のように黒いメラニンが集まっています。これ、面白い程ホントの話！メラニンができすぎ、表皮の下の真皮にたまつて

外線に当たらない（日焼け止め、テープ）、②メラニンを作りにくくし、できたメラニンを体から出す（ビタミンC）、③レーザー（その日からハッピーになれる訳ではないのですが…）。

次に女性の両頬部に対照的にできる「肝斑」。ホルモンが影響するといわれ、現在では大きな意味での抗炎症剤の服用で薄くなります。その他の原因は？といふと、でき方の異なる「雀卵斑（そばかす）」、「後天性真皮メラノーシス」、「脂漏性角化症」、「日光角化症」、「基底細胞癌」等があり、薄くする方法もそれぞれ異なるので、自分の「しみ」がどれなのかを知ることが大切。詳しく述べます。

この症状を引き起こす原因は脳出血後や脳梗塞などの脳血管障害、変形性脊椎症（背骨の変型）、脊柱管狭窄症（背骨の中の脊髄という神経の入っている所が狭くなる）などによる脊髄機能障害、脳

脊髄の炎症・外傷後や変性疾患による神経機能障害などがあります。切迫性尿失禁や溢流性尿失禁と原因となる疾患が重なりますが、それらの疾患によって脳を含む神経のどの部分がどの程度障害を受けたかによって症状の出方が異なります。

以上、尿失禁についてお話ししましたが、患者さん一人一人原因が多岐にわたりいくつかの尿失禁を合併していることが多いので、一言しゃることが多いです。しかし、この対処法がいいですよとお話しすることができません。一度泌尿器科を受診され相談されることがあります。

法・膀胱内カテーテル留置（尿道を通して管を膀胱内に入れたままにして尿を排出する）・自己導尿（一日数回尿道から膀胱内に管を通して尿を排出する）・経過観察などがあります。



春秋園だより

木々の色づきが目に鮮やかな新緑の時期となり、入梅へと移り変わる季節になります。

季節の移り変わりを日々感じながら皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は去る4月・5月に行いましたお花見をご紹介致します。

4月はつくば農林研究団地の農林さくら通りにある桜並木を4日間に渡つてドライブしました。

5月には春秋園にある八重桜見物に外に出ました。身近な所にあつた満開の桜に春を感じる癒しの時間となりました。

次はあやめ見物を予定しております。これからも季節の移り変わりを皆様と楽しんで参ります。皆様の思い出の1日に加えて頂ければ幸いです。

(春秋園スタッフ一同)



第15回

生活習慣病教室 開催します

テーマ

尿路結石の治療と予防

日 時 7月7日(木)
14時30分から約一時間

講 師
ESWLや内視鏡など
泌尿器科 友部医師

会 場 牛久愛和総合病院
B館2階 大ホール

参 加 費 無料

切らずに治療するESWLや内視鏡手術、予防する方法などのお話を。事前予約は不要です。ご興味のおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加ください。



◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

電 話

029-873-3111(代)

細菌性食中毒にご注意

栄養センター

管理栄養士

後藤 和代

食中毒は夏に多いというイメージはありますか？

食中毒の原因には「細菌」「ウイルス」「自然毒」などがあります。

実は一年を通じて発生しています。夏にかけて気温が高くなりジメジメとした日が多い梅雨の季節に注意したいのが、力

ンピロバクターや腸管出血性大腸菌〇—157・〇—111などの「細菌」による食中毒です。

これらは家畜の腸にいる細菌なので食肉に付着する菌をゼロにすることは非常に困難ですが、

熱に弱い細菌なので十分に加熱して食べれば安全に食べることができます。肉の鮮度とは関係なく、肉を生や加熱不足で食べてしまうことにより感染し食中毒が起きています。

梅雨の向こうには太陽の季節が待っています。戸外でバーベキューや焼肉をする楽しい場が増えることでしょう。食中毒を起こすことのないよう十分注意して楽しんでください。



安全に食べるためのポイントは、

- 1、生で吃るのは避け、しつかりと火を通すこと。(中

- 心温度75℃で1分以上加

した。
親子でふれあいながら、林の中を歩きリフレッシュした一日でした。

(佐藤)

5月22日（日）、遠足に行つてきました。場所は牛久自然観察の森です。

レンジャーの方の説明を聞きながら林の中を歩きました。さ

んじょうの葉の臭いをかいだり、腐葉土の中のカブト虫の幼虫を見せてもらいました。原っぱではバッタを追いかけたり、エコノ木の花を拾いました。水をつけると石けんの様に泡がでて驚きました。一時間30分程歩き、木陰で昼食を食べました。

5月22日（日）、遠足に行つてきました。場所は牛久自然観察の森です。

編集だより

二週間も早く、梅雨入りしました。長い梅雨になるそうです。でも、気持ちだけはジメジメ湿らず、カラッと元気にがんばりましょう。

(C・S)

総務課
山岡

利用の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。



5/22

《出来事ピックアップ》
遠足

「節電ご協力のお願い」

東日本大震災により福島第一原子力発電所が被害を受け今年の夏は電力不足が深刻な問題となっています。

電力使用量については、国より病院は制限緩和される事となりましたが当院と致しましても昨年度（月別）の最大使用電力から15%の削減を目標にかかげ節電できるよう努めることを致しました。つきましては、院内

照明の一部消灯やエアコン設定温度28度など患者さんを始めご利用の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

診療科目

【一般外来】

総合診療科（内科）、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来（シャント外来）

【専門外来】

整形専門（股関節、脊椎、スポーツ）

小児科（小児循環器、小児心理）

循環器（心臓血管外科）

形成外科（アンチ・エイジング、レーザー）

皮膚科（レーザー）

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 504床（一般445床 医療療養型59床）

施設

敷地 57,911 m² 駐車場 1040台



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100

